

講義名称	ミクロ経済学Ⅱ	担当教員名	松田 慎一
科目群	社会科学 (SOC)		
科目区分等	経済 CA7 DI5	単 位	2
対象学年次	2年・春学期	ナンバリング	SOC221

授業のキーワード	家計、企業の経済行動、市場均衡、完全競争市場
授業の概要	ミクロ経済学は、家計や企業の合理的な意思決定に基づき、希少な資源の配分を決める学問です。ミクロ経済学Ⅰを履修済みであり、その知識と多少の数学の前提の下、講義を進めます。
期待される学習成果 (目標)	1. ミクロ経済学の考え方を理解できる。 2. 家計や企業の行動、市場の仕組みについて説明できる。

授業展開		
回	テーマ	内 容
1	イントロダクション	授業概要の説明と、ミクロ経済学とはどのような学問であるのか解説します。
2	需要と供給	ミクロ経済学基礎の確認を行います。
3	均衡と市場メカニズム	ミクロ経済学基礎の確認を行います。
4	消費者の行動 (1)	消費者の予算制約について説明します。
5	消費者の行動 (2)	消費者の効用、無差別曲線について説明します。
6	消費者の合理的な選択とは	消費者の最適消費について説明します。
7	所得と価格の変化	最適消費と所得や価格の変化について説明します。
8	需要の価格弾力性と所得弾力性	価格弾力性と所得弾力性について、より詳細な説明します。
9	企業の行動	企業の経済行動について説明します。
10	企業の利潤と利潤最大化 (1)	企業の利潤最大化行動について説明します。
11	企業の利潤と利潤最大化 (2)	企業の合理的な選択とは何か説明します。
12	損益分岐点と操業停止点 (1)	損益分岐点と操業停止点の経済的な意味を解説します。
13	損益分岐点と操業停止点 (2)	損益分岐点と操業停止点の経済的な意味を解説します。
14	完全競争市場	完全競争市場とは何かについて説明します。
15	まとめ	この授業で解説した内容の総括を行います。

定期試験	授業内容に基づいた記述式の筆記試験を行う予定です。
授業時間外学習	1-5回：授業の進捗に合わせて、教科書の練習問題を解くこと。 6-10回：授業の進捗に合わせて、教科書の練習問題を解くこと。 11-15回：授業の進捗に合わせて、教科書の練習問題を解くこと。
評価方法	授業貢献度と課題を30%、期末試験を70%として総合点により評価します。授業内において、出題した課題の返却を予定しています。
使用する教科書 (必ず購入してください)	必要に応じて資料を配布します。
参考文献	スティグリッツ他『ミクロ経済学』4版 東洋経済 マンキュー『マンキュー経済学Ⅰ』4版 東洋経済 伊藤元重『ミクロ経済学』3版 日本評論社 竹内健蔵『ミクロ経済学って大体こんな感じです』有斐閣